

くす 樟のかおり



加古川市立神野小学校
学校だより
令和8年7月13日
第4号

【小さな島国が教えてくれた、可能性を信じる強さ】

連日、熱戦が繰り広げられているサッカーワールドカップ。日本チームの活躍はもちろんですが、今大会、世界中から最も大きな拍手と歓声を浴びたのは、初出場の「カーボベルデ共和国」という国かもしれません。

アフリカ西海岸に浮かぶこの国は、国土の広さが「兵庫県」の半分弱。そして人口は加古川市の約2倍にあたる50万人ほどの、国としては非常に小さな島国です。そんな彼らが、本大会の大舞台で世界を驚かせました。1次リーグでスペイン、ウルグアイ、サウジアラビアという世界的な強豪すべてと引き分ける奇跡を起こして決勝トーナメントに進出。さらに、決勝トーナメントでは世界ランキング1位の絶対王者・アルゼンチンを相手に2対3で惜敗したものの、延長戦までもつれ込む大激戦を演じたのです。選手層も環境も圧倒的に勝る王者をギリギリまで追い詰めた姿は、世界中に大きな衝撃と感動を与えました。

実績も経験もない小さな島国が、なぜこれほどの躍進を遂げられたのでしょうか。そこには「2つの力」がありました。1つ目は「地道な準備の力」です。彼らは「どうせ無理だ」と諦めることなく、世界の強豪と戦うために戦術を磨き、泥臭い努力を積み重ねてきました。確かな「準備」があったからこそ、大舞台でも気後れせず、自分たちの力を100%発揮できたのです。2つ目は「仲間を信じる団結の力」です。このチームの選手たちは、生まれ育った場所も普段プレーしているリーグもバラバラでした。しかし、「祖国のために」という一つの目標のもとで心をついにし、誰かがミスをするれば全員でカバーし合う抜群のチームワーク(団結力)が、強大なライバルに立ち向かう最大の武器となりました。彼らの姿を見て、私は子どもたちの姿を重ねずにはいられませんでした。私たちはつい、「まだ〇〇だから」「経験がないから」と、自分で自分の限界を決めてしまうことがあります。しかし彼らは、「どんなに小さくても、可能性を信じて『準備』と『団結』を重ねれば、大きな壁を破れる」と証明してくれました。子どもたちの可能性も、これとまったく同じです。

これから始まる約40日間の夏休み。2学期という次のステップに向けて、少しずつでも毎日コツコツと努力を続けることは、子どもたちにとっての大切な「準備」です。また、ご家庭という一番小さなチームの中で、家族の一員としての役割(お手伝いなど)を果たし、支え合う「団結」を学ぶ期間でもあります。子どもたちがこの夏、自分を信じて一歩を踏み出し、たくましく成長してくれることを期待しています。ご家庭におかれましても、「あなたならできるよ」と、お子さんの可能性を温かく支えてあげてください。夏休み明け、自信に満ちた表情の子どもたちと会えることを、教職員一同、楽しみにしています。



【先日は、お忙しい中、個人懇談にお越しいただき、誠にありがとうございました】



限られた時間ではありましたが、学校での様子をお伝えするとともに、ご家庭でのお子さんの姿や取組について直接お話を伺うことができ、大変有意義な時間となりました。お話しいただいた内容やご意見は、今後の教育活動や2学期からの指導にしっかりと生かしてまいります。

Chromebookの持ち帰りについて

夏休みの期間中、ICT機器の利活用の技能を身に付けさせるために、児童用学習端末(Chromebook)の持ち帰りを行います。各学年に応じて家庭学習のツールとして活用してください。



学校園閉庁日について

・加古川市では、市内全ての学校園において、**8月13日(木)～8月15日(土)までの3日間**は、学校園閉庁日となります。

<8・9月の主な行事>

- ・8月21日(金) 登校日 8:15
学年別下校 9:15
- ・9月 1日(火) 始業式 8:15
学年別下校 11:50
- 3日(木) 給食開始

水泳授業 《コナミスポーツクラブ》
9月 / 3日(木)、10日(木)
17日(木)、24日(木)
10月 / 1日(木)